



バンピーノハウス保育園

暑い日が続くようになり、プール・水遊びが楽しい季節になりました。水に触れることで皮膚を丈夫にし、心肺機能も高められます。晴れた日はプール・水遊びを十分に楽しみ、心も体も強くなれるようにしていきたいですね。

夏に多い感染症

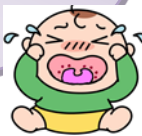
手足口病・プール熱・ヘルパンギーナは、接触・飛沫での感染です。下痢症状がある時は排泄物からの感染もあります。

予防の基本：うがい・手洗い・手指の消毒 **治療の基本：十分な休息と水分補給**

ウイルス感染によって起こる病気です。他の人への感染力も強いので、必ず受診をして、医師の診断を受けましょう。

プール熱(咽頭結膜熱)

高熱と喉の痛みがある。充血・涙目・目脂などの結膜炎症状や、下痢・嘔吐・頭痛を伴うことがある。



ヘルパンギーナ

高熱が出て、のどの奥に水疱が出来、そのうちに潰瘍になる。痛みがひどいため、飲み込みにくく水分が不足しやすいので注意が必要。熱が出てから2～3日程で熱は下がり、のどの痛みも治まる。



手足口病

手の平や足の裏に水ぶくれを伴う発疹が出来る。発熱を伴うこともある。まれに髄膜炎や心筋炎を合併することがあるため注意が必要

熱や痛み、目の症状を抑える薬が処方されます。
症状がなくなってから、2日経過するまでは出席停止です。
登園の際は、「登園報告書」を提出してください。
※「登園報告書」は、保護者が記入する書類です。正面玄関に置いてあります。また、園のHPからダウンロードもできます。

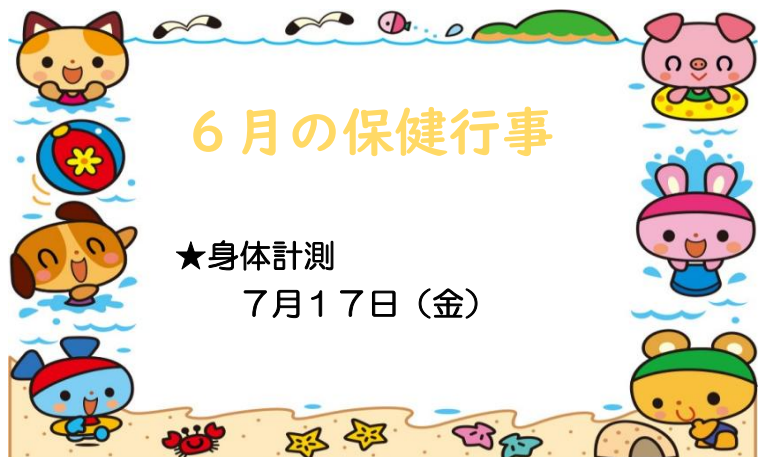
看護師より

発熱など体調を崩されてのお休みが数名おりましたが、早めに回復され、その後は元気に登園されています。

水分補給や冷房の上手な活用など、熱中症対策に取り組みながら、元気に夏を過ごせるようにしましょう！気になる症状がある場合は、担任・看護師までお知らせください。

6月の保健行事

★身体計測
7月17日(金)



低年齢ほど危険な「熱中症」！

＜どうして、子どもは「熱中症」になりやすいの？＞

体温調整がまだうまくできない

体は小さいのに、大人並みに汗をかくため、脱水になりやすい



身長が低いため、照り返しの影響を受けやすい

水分補給したり、着ている服で調節するなど、自分で予防できない

自分の体調をうまく言葉に出来ない

＜予防のポイント＞

- ・こまめに水分補給をしましょう。
- ・帽子をかぶり、通気性の良い、涼しい服を着せてあげましょう。
- ・地面からの照り返しに注意！日差しの強い正午～午後3時頃の外出は控えましょう。
- ・短時間でも、車に子どもを残して離れないようにしましょう。エアコンをつけていても危険です。
- ・室内でも熱中症の危険があります。気温や湿度が高い時は、風通しを良くしたり、エアコンや扇風機を上手く利用しましょう。

もし、「熱中症」になってしまったら・・・

＜応急処置のポイント＞ 体を冷やして、水分補給

1. 涼しい場所に移動し、あおむけに寝かせる クーラーが効いた部屋がベスト！
2. 服をゆるめて、からだを冷やす
太い血管が走っている部分（首・わきの下・太ももの付け根）を保冷剤で冷やす
肌に水を掛けたり、濡れタオル拭いた後、うちわなどを使って仰ぐこともおすすめ
3. 水分補給



症状が改善しない場合は？

自家用車ですぐに受診

- ☐ 口から水分を摂る事が出来ない
- ☐ 様子を見たが、ぐったりしたまま
- ☐ 意識を失っていない。

解熱剤は使ってもいい？

- × 熱中症の発熱→下がらない
- 頭痛 → 痛みを和らげる効果あり。

ぐったり感が強い&重度の症状があれば救急車を呼びましょう！

119番



- ☐ 体温が高い
- ☐ 意識障害が少しでもある
- ☐ けいれんを起こしている

重症の時はこんな症状がΣ(「□」Ⅲ)

- ☐ 汗が出なくなり、異常な高体温になる
- ☐ 呼びかけへの反応がおかしい
- ☐ 真っ直ぐ走れない
- ☐ 肝臓や腎臓の障害など
(血液検査で分かる)

